

内閣府 令和3年度委託調査事業

# 学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果 報告書（概要版）

2021年11月25日

株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、2021年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の意識・行動等を把握することにより、2022年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

#### 【参考】就職・採用活動開始時期の変更経緯（大学4年生の場合）

	広報活動開始	採用選考活動開始
2014年度 卒業生	大学3年生 12月	大学4年生 4月
2015年度 卒業生	大学3年生 3月	大学4年生 8月
2016年度 卒業生		大学4年生 6月
2017年度 卒業生		
2018年度 卒業生		
2019年度 卒業生		
2020年度 卒業生		
2021年度 卒業生		

### 2. 調査の実施方法

【対象】：大学4年生、大学院2年生

（医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科、海外からの留学生を除く。）

【方法】：インターネット調査。62程度の大学から所属対象学生に案内。

【期間】：2021年7月14日から8月10日（8月1日時点の状況を回答）

### 3. 有効回答件数

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	4,873	1,718	6,591

（注）この資料中、「2020年度調査」とあるのは、内閣府令和2年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」「2019年度調査」とあるのは、内閣府令和元年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2018年度調査」とあるのは、内閣府平成30年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2017年度調査」とあるのは、内閣府平成29年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2016年度調査」は、内閣府平成28年度委託事業「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、「2015年度調査」は、内閣府平成27年度委託調査事業「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」を指す。なお、2016年度調査～今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

（注）2015年度調査～2017年度調査については、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、2018年度調査・2019年度調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。なお、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際には、学校基本調査の在学者数を基にしたウエイトによりデータの補正を行っている。

（注）原則として「就職活動を行った（終えた）」又は「就職活動を行っている（継続している）」と回答した者が集計対象であるが、一部の回答者を除いて集計をしている設問がある。インターンシップに関する設問においては、企業が「インターンシップ」や「ワンデー仕事体験」等と称して実施したプログラムを全て含めて回答を求めるとともに、「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含めた。

（注）四捨五入により、複数の選択肢の回答を合わせた結果について、グラフに掲載した個々の選択肢の回答割合を足し合わせたものと小数点以下第1位の値が一致しない場合がある。

## 本調査のまとめ

### 1. 就職・採用活動時期に関する認識

1 就活ルールについて、「ルールは必要」とする人は約7割。中でも、「ルールは必要であり現在の開始時期がよい」との回答割合が最も高い。

2 昨年と同じ時期に設定されたことについては、概ね肯定的な回答が多い一方、「選考活動を早期に開始する企業があり混乱」との回答も存在。

- 就活ルール(広報活動3月、採用選考活動6月)について、「ルールは必要」とする人は約7割。中でも、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」との回答が約3割と最も高く、昨年同様の結果となった。
- 2021年度の就職活動時期が、昨年度と同じ時期(広報活動3月、採用選考活動6月)に設定されたことについては、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」という点に特にメリットを感じている一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」との回答も存在した。

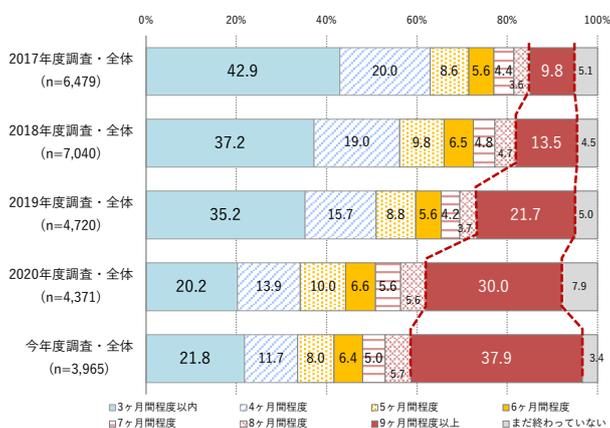
### 2. 就職活動に要する期間と学修時間の確保について

1 就職活動に要する期間は、「9ヶ月間程度以上」の割合が約4割と最も高く、年々その割合は高まってきており、長期化の傾向。

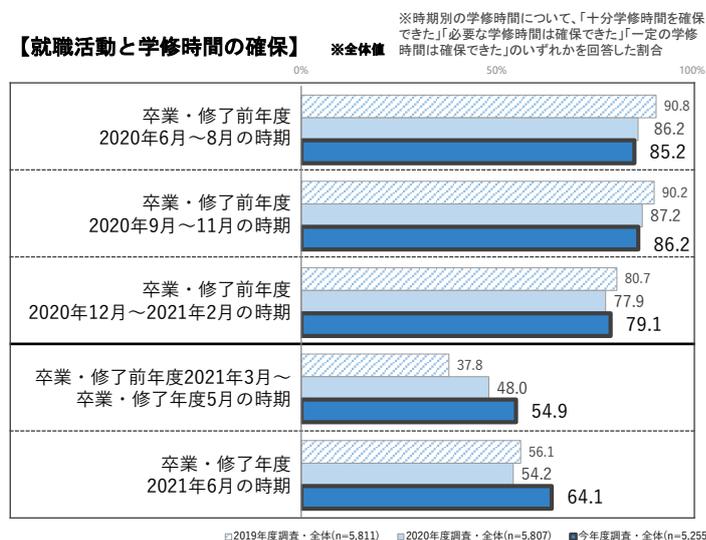
2 学修時間が確保できたとする割合は、昨年度と比較し「卒業・修了前年度の3月から卒業・修了年度の6月」が上昇。

- 「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について見てみると、「9ヶ月間程度以上」の割合が約4割と最も高い。過年度調査との比較では、「9ヶ月間程度以上」の割合が高くなってきており、学生にとって長期化が進んでいる実態が窺える。
- 「十分学修時間を確保」「必要な学修時間は確保」「一定の学修時間は確保」のいずれかを回答した割合は、昨年度と比較すると、広報活動開始時期前の2月までの時期についてはあまり変わらず、卒業・修了前年度の3月～卒業・修了年度の6月の時期については高くなっていった。つまり、広報・採用活動開始時期に該当する期間については、昨年度より学修時間が確保できている傾向が見られた。

【就職活動の始まりから終わりまでの期間】 ※全体値



【就職活動と学修時間の確保】 ※全体値

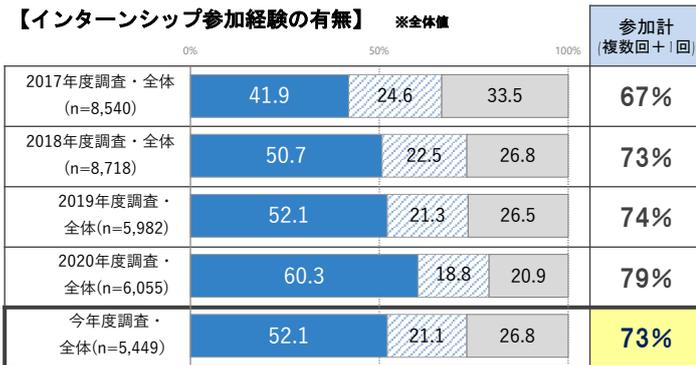


### 3. インターンシップについて

- 1 **インターンシップに参加した学生が約7割。約5割の学生が複数回参加と回答。**
- 2 **参加したインターンシップのうち最長の日数として「1日」、「半日」と回答した割合は約5割。今年度調査は「半日」の割合が上昇し「5日以上」の割合が低下。**
- 3 **インターンシップ後の参加者を対象としたアプローチは、「3月の広報開始前の説明会に参加」が約6割、「参加者を対象とした早期選考の案内」が約5割。**

- インターンシップ参加経験について、約7割が「参加したことがある」と回答、約5割が「複数回参加したことがある」と回答。昨年度と比較すると、「複数回参加したことがある」と回答した割合が低下。
- 参加したインターンシップのうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日以下」の回答割合が約5割と半数近くを占め、昨年度よりも割合は高まった一方、「5日以上」の割合は低くなっている。
- インターンシップ参加後に、インターンシップ参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けたかどうかを集計すると、「採用説明会・セミナーに参加した(2021年2月以前に開催されたもの)」が約6割、「インターンシップ参加者を対象とした早期選考の案内」が約5割、「採用試験・面接等を受けた(2021年5月以前に実施されたもの)」「エントリーの案内」が約4割となった。

【インターンシップ参加経験の有無】 ※全体値



■ 複数回参加したことがある □ 参加したことがある(1回) ■ 参加したことがない

【インターンシップに参加したうちの最長日数】 ※全体値

	半日・1日	2~4日	5日以上
2019年度調査・全体 (n=4,395)	45%	25%	30%
2020年度調査・全体 (n=4,787)	43%	28%	29%
今年度調査・全体 (n=3,988)	47%	33%	20%

### 4. 就職・採用活動の動きについて

- 1 **企業説明会等への参加時期(ピーク)は、昨年度と比べ、9月以前に参加したとする回答割合がやや上昇したものの、2月はやや減少。**
- 2 **最初に採用面接を受けた時期は、3月の回答割合が最も高く、概ね昨年度と同様の傾向。採用面接のピーク時期は、2019年度調査と同様に4月の割合が最も高い。一方、3月の回答割合がやや上昇し、ピークが若干早まる傾向。**
- 3 **内々定を受けた時期は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2019年度調査と同様に4月がピーク。累計では6月までに約9割が最初の内々定を受ける。**

- 企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期前である「2020年9月」の回答割合が約5割と最も高く、昨年度より上昇。最初に参加した採用を目的とした企業説明会やセミナーの時期については、卒業・修了前年度の9月以前の累積割合で、5%未満となっている。
- 採用面接の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」は、広報活動開始時期である「2021年3月」の回答割合が約3割で最も高い。昨年度と比較すると、特に「ピーク」では3月の割合が高まっており、若干ピークが早まっている。
- 最初の内々定を受けた時期について、最も回答割合が高い月が「2021年4月」にきており、約2割。今年度調査では2021年4月時点までで約6割が最初に内々定を受けたと回答。

## 5. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について

1 就職活動の中で、**新型コロナウイルス感染症による影響があったとした人は約8割**であるが、昨年と比べて低下傾向。

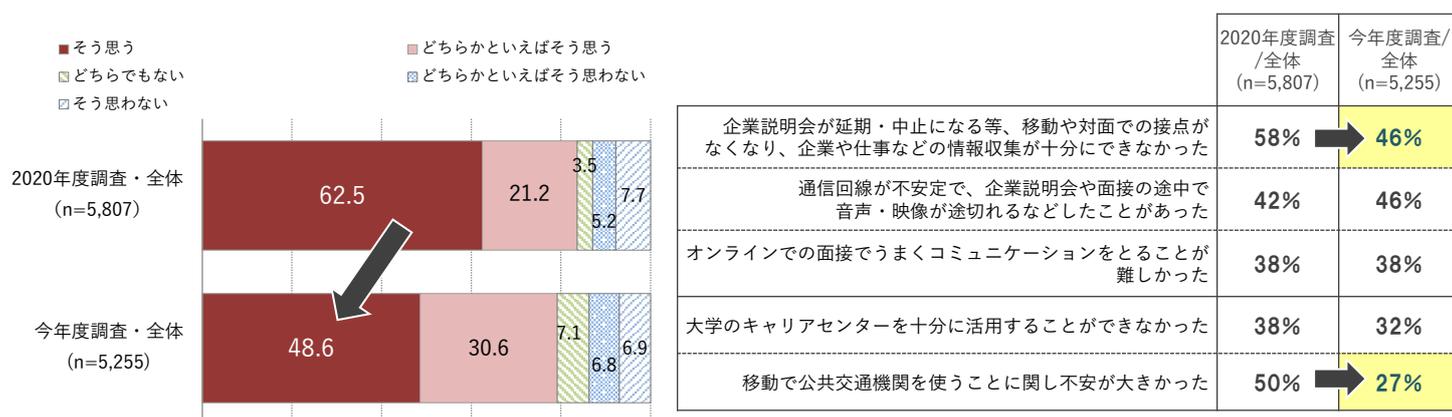
2 課題については、昨年度上位にあった「**情報収集が十分にできなかった**」「**公共交通機関の使用に不安**」が**今年は5割以下と、昨年度に比べ大きく減少**。一方、通信回線や情報収集の点を課題とした回答が、それぞれ約5割。

3 就職活動に与えた良い影響は、「**オンラインの活用により交通費の負担軽減**」が**9割**、「**オンラインの活用により遠い企業の採用面接等も受けやすくなった**」が**7割**。

- 就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約8割。「そう思う」とする割合については、昨年度調査63%→今年度では49%と、大きく減少した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととして、昨年度高かった「企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点なくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった」については58%→今年度46%、「移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった」については50%→今年度27%と、どちらも10%以上低くなった。
- 一方、想定よりもプラスになったこととしては、「オンラインの活用が増えたので、交通費などの費用面の負担が軽減した」が約9割、「オンラインの活用が増えたので、現在の居住地から遠い企業の説明会に参加しやすくなったり、採用面接が受けやすくなったりした」が約7割と高かった。新型コロナウイルス感染症により悪い影響はあるものの、逆に学生にとっては良い影響になった要素もあることが確認された。

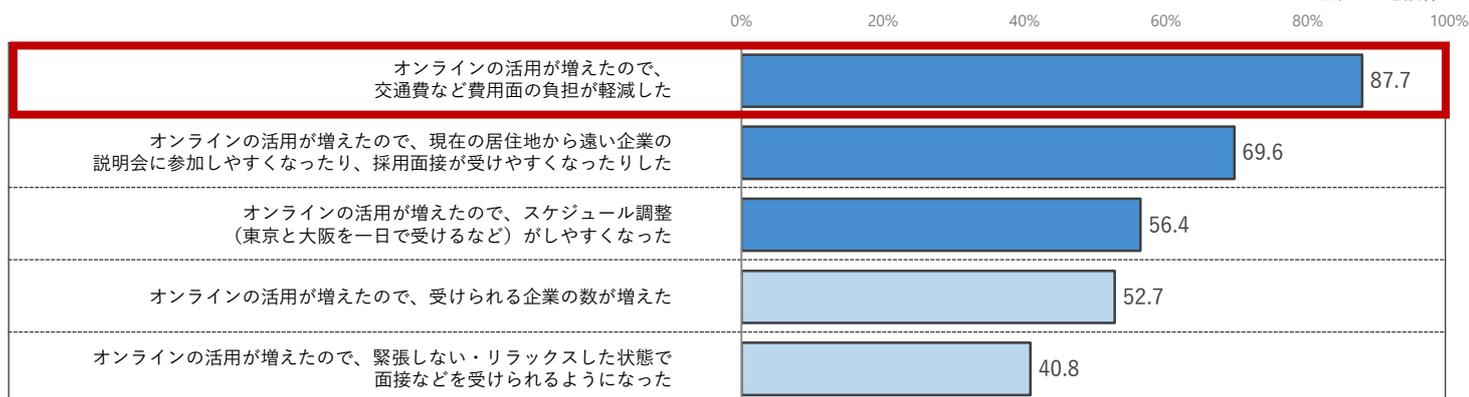
【就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響】 ※全体値

【就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題】 ※全体値



新型コロナウイルス感染症による社会的な変容が就職活動に与えたメリット

※上位5つを抜粋



## 6. 就職活動の早期化・長期化について

1 最初に実施された就職・採用活動のうち、就活ルールよりも前に実施されたものは、**採用面接で97%、内々定で74%、採用を目的とした説明会で65%**と、採用面接が最も高い。

2 最初に内々定をもらった企業が「就活ルール前か就活ルール後か」で見ると、**会社規模「1,000～4,999人」を超えると「ルール前」の割合が「ルール後」を上回る。**

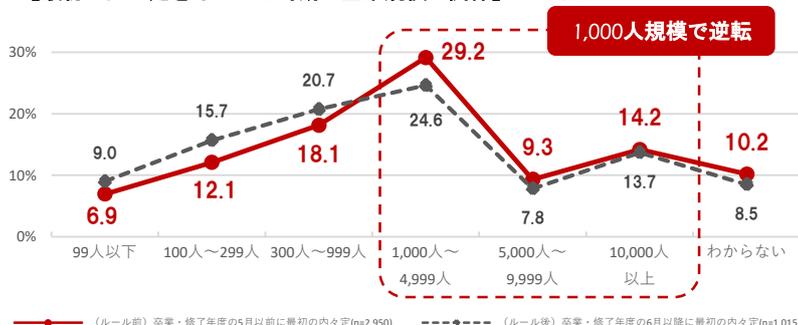
3 最初に内々定を得た企業の経路について、6月の採用・選考活動開始前後の割合の比較では、**「インターンシップに参加した会社側からの案内」の開始前（5月以前）の割合が高い。**

- 就職活動においてポイントとなる活動(企業説明会やセミナー(採用を目的とする)参加、エントリーシート提出、採用面接、内々定)について、ルール前の参加を集計すると、採用面接が97%と最も高くなっており、殆どの学生が5月以前に最初の採用面接を受けていることが窺える。
- 最初の内々定についても、7割以上が「ルール前に受けた」と回答。企業規模で見ると、「999人以下」の企業については、「ルール後内々定」の方が割合は高い。一方で「1,000～4,999人」を超える企業では、「ルール前内々定」の方が割合が高くなっており、「企業規模1,000人」を境に、ルール前内々定が高まる傾向が見受けられた。
- 最初に内々定をもらった企業について、どのような経路で採用試験等を受けたかを見てみると、ルール前・後に関わらず、最も高い経路は「自由応募」。但し「ルール前内々定」で見ると、「インターンシップ経路」が3割弱(ルール後内々定は5%程度)となっており、インターンシップ等が早期化の要因の1つとなっていることが窺える。

【各活動における「ルール前の参加」について】 ※全体値

	対象者数	ルール前参加の割合
説明会※採用を目的とする	4,675	65%
エントリーシート提出	5,096	61%
採用面接※公務員・教職員希望者を除く	4,384	97%
内々定※公務員・教職者希望者を除く	3,965	74%

【最初に内々定をもらった時期と企業規模の関係】 ※全体値



## 7. 就職活動における早期化・長期化とインターンシップ

1 インターンシップ参加者のうち、**インターンシップを契機とした早期アプローチがあったとした人は、全体で75%**となっている。

2 インターンシップ参加者を、「早期アプローチがあった人」「なかった人」で見ると、**「早期アプローチがあった人」の方が、就職活動期間が長い傾向。**

- インターンシップに参加したことがある人を対象に、何らかのインターンシップを契機とした早期アプローチ(ルール前実施の採用説明会、早期選考の案内、ルール前内々定など)があったかどうかを集計すると、「早期アプローチがあった」とした人は全体で75%となっており、この結果からもインターンシップが早期化の一因となっていることが窺える。
- 上記によって、インターンシップを契機とした早期アプローチがあった人・なかった人で分類をし、就職活動期間を集計すると、「9か月間程度以上」とした人が、「早期アプローチがなかった人」では27%、「早期アプローチがあった人」では49%と、20%以上の差があった。インターンシップを契機とした早期アプローチが、結果、就職活動の長期化に繋がっている部分があることが推測される。

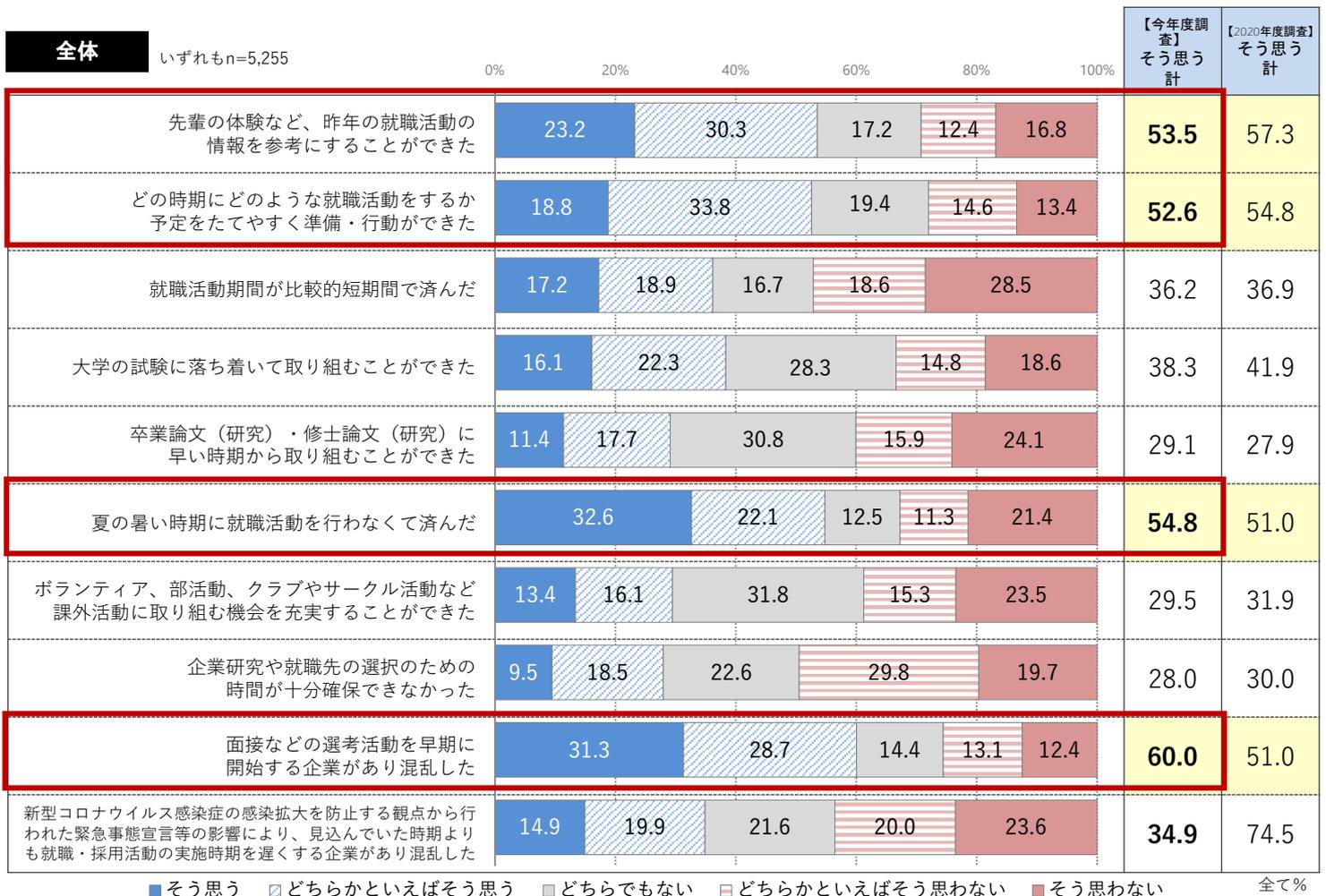
就職活動時期に関する認識

就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）ことについて、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」という点で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が約5割と比較的高かった。

他方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」では約6割となっていた。

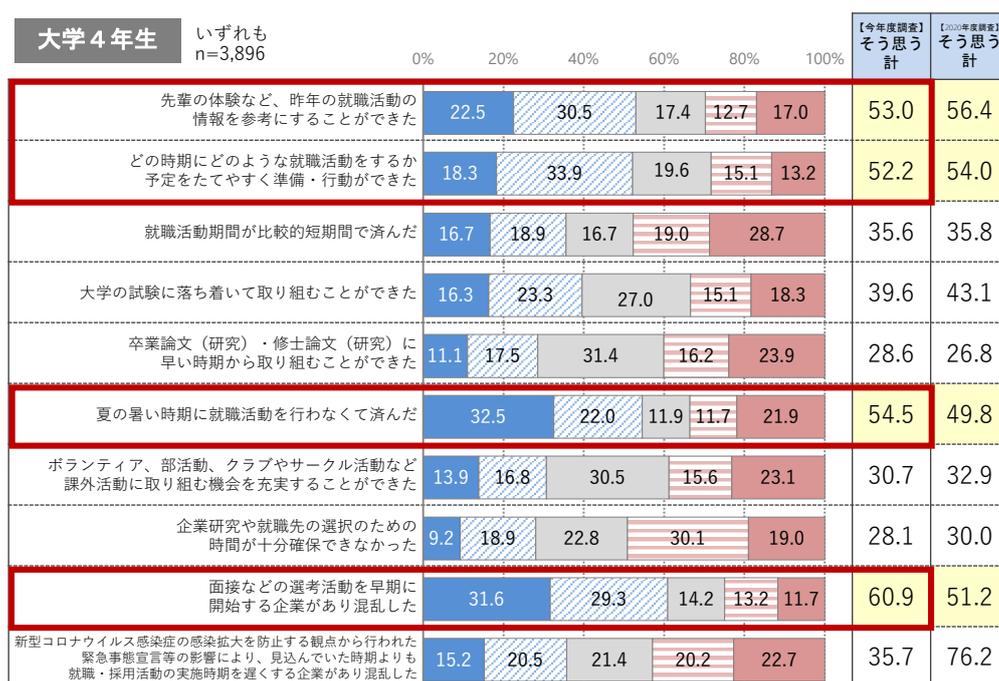
2020年度調査と比較すると、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」については、今年度調査の方が「そう思う」と回答した者の割合が高くなり、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した」については、今年度調査の方が「そう思う」と回答した者の割合が低くなっている。

調査項目（そう思う+どちらかといえばそう思うが5割を超える項目）	全体の回答
	「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」
面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	60.0
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	54.8
先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	53.5
どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた	52.6

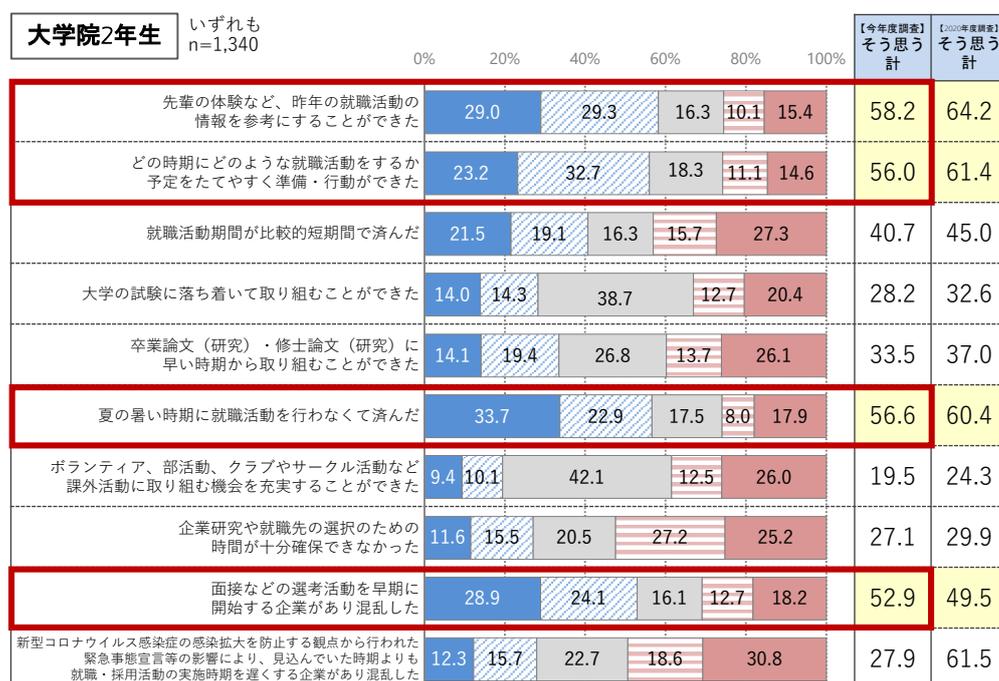


## 就職活動時期に関する認識

調査項目 (「そう思う+どちらかといえばそう思う」が5割を超える項目)	大学4年生	大学院2年生
	「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」	
面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	60.9	52.9
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	54.5	56.6
先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	53.0	58.2
どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた	52.2	56.0



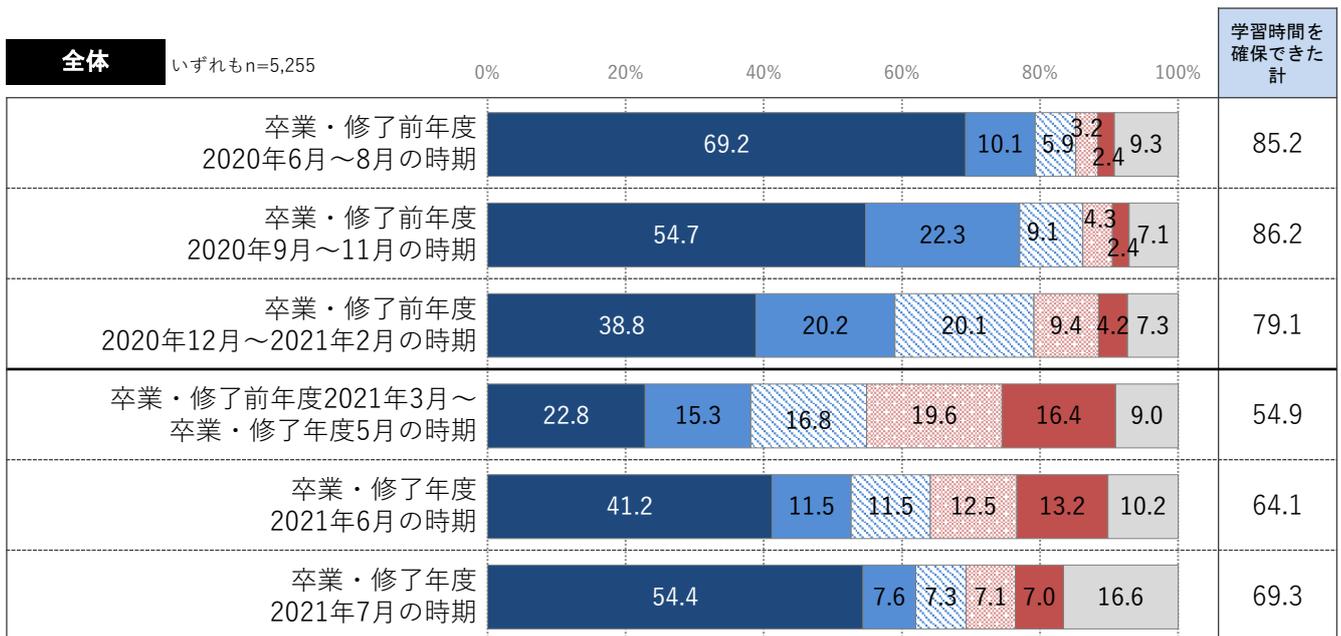
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらでもない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



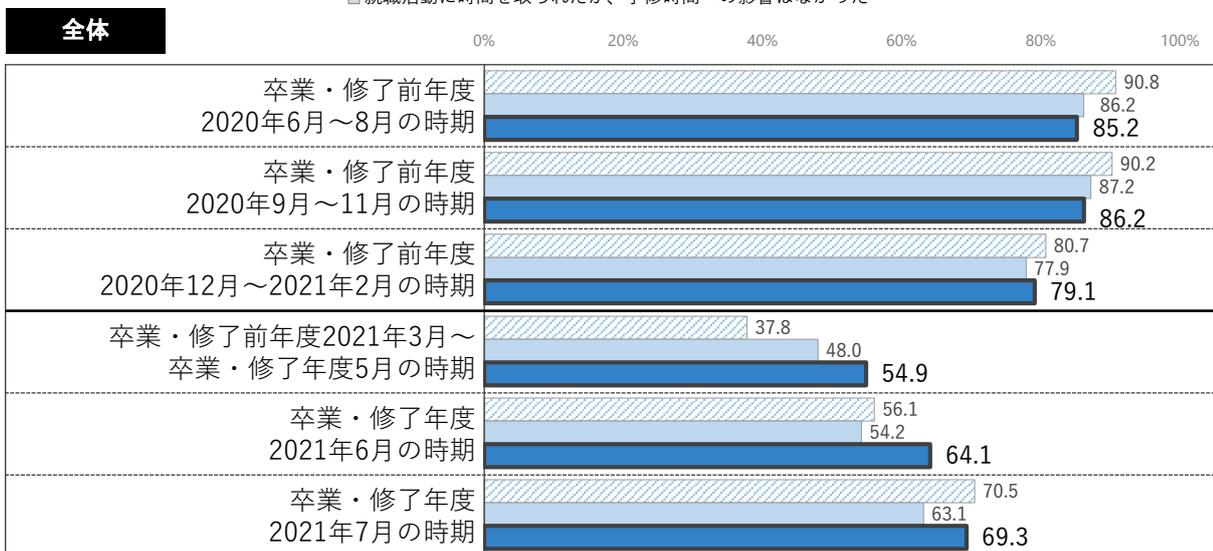
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらでもない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

## 就職活動と学修時間確保の状況

「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の11月までは約9割、2月までは約8割と高くなっており、広報活動開始時期後の3月～5月には役5割まで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は約6割、7月は約7割まで上昇している。



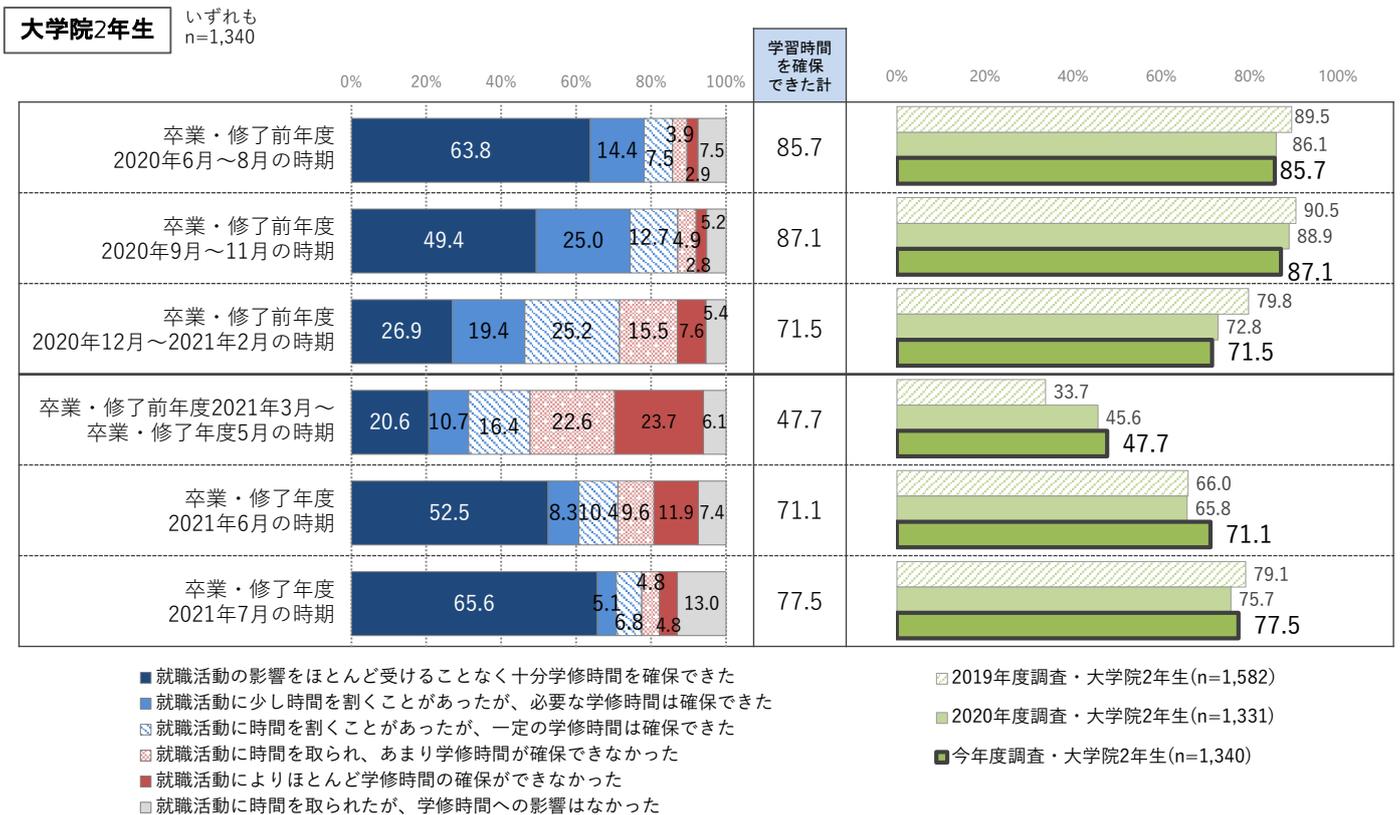
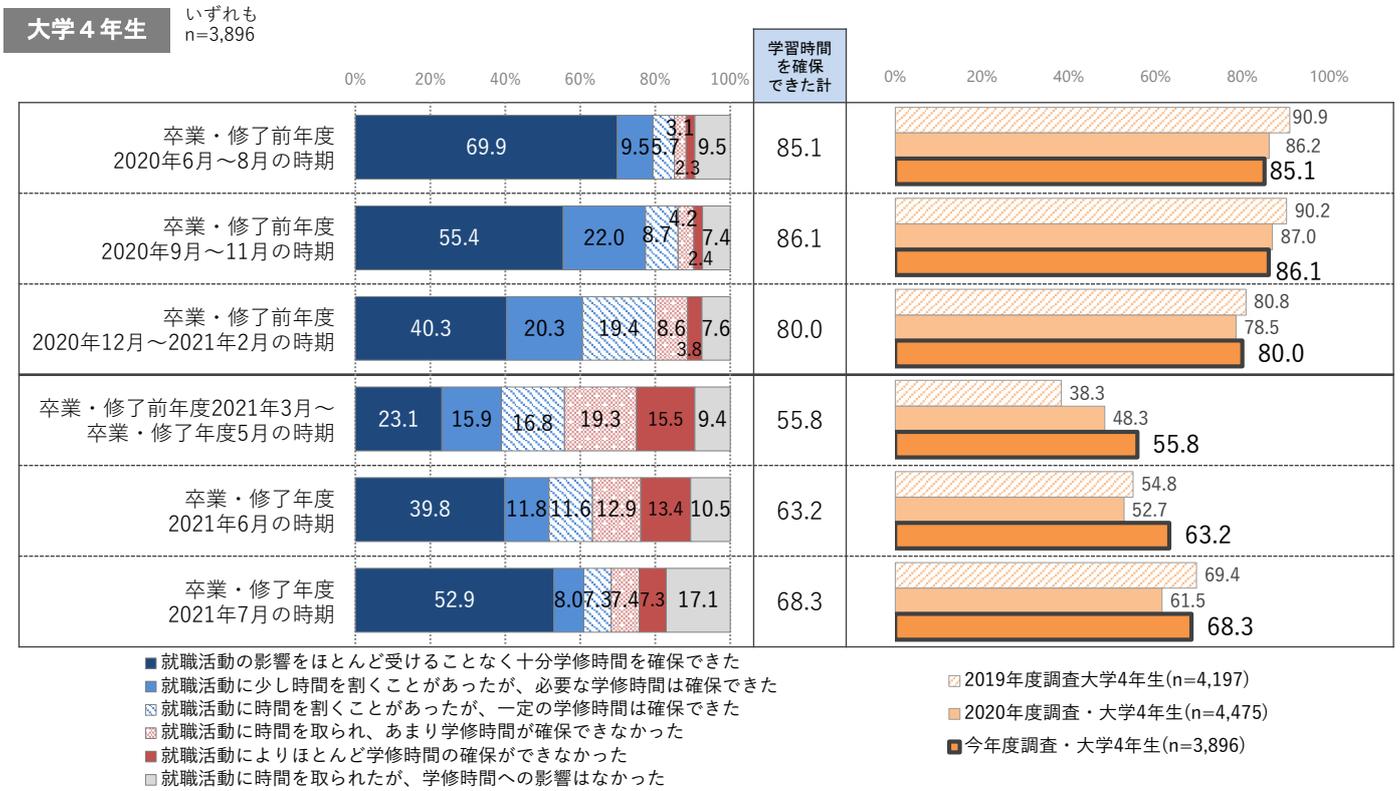
- 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた
- 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった
- 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった
- 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった



■ 2019年度調査・全体(n=5,811) ■ 2020年度調査・全体(n=5,807) ■ 今年度調査・全体(n=5,255)

※グラフの値は、「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

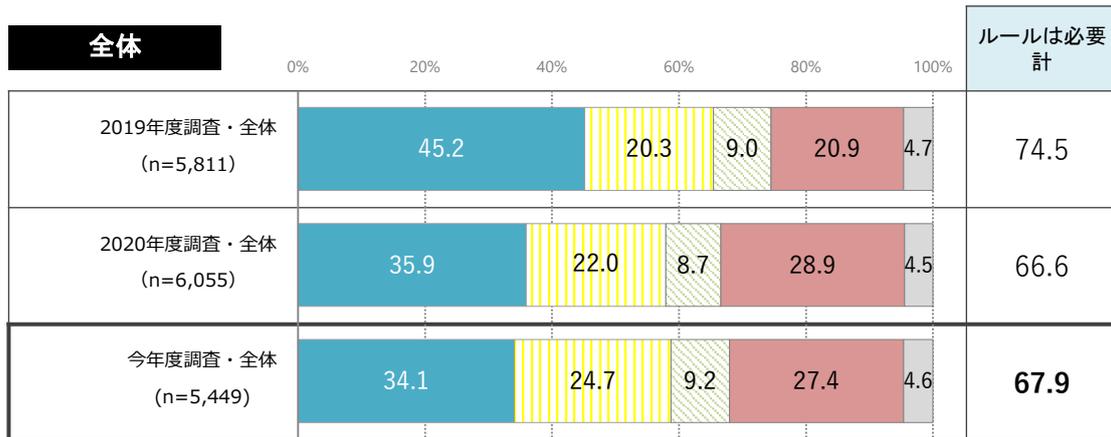
## 就職活動と学修時間確保の状況



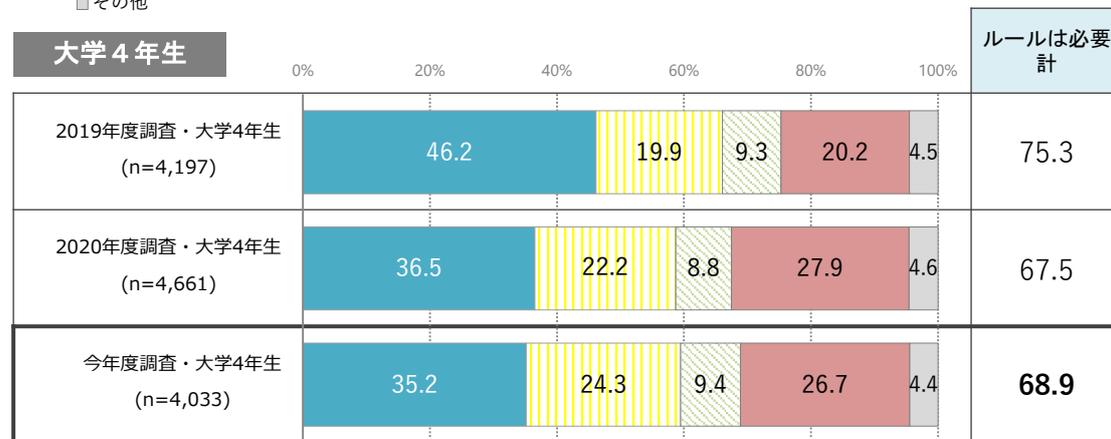
## 就活ルールに関する考え

就職・採用活動開始時期や、いわゆる「就活ルール」(広報活動開始:卒業・修了前年度の3月1日以降、採用選考活動開始:卒業・修了年度の6月1日以降)に関する考えについて、「ルールは必要」とする人は約7割。中でも、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」の割合が最も高い。

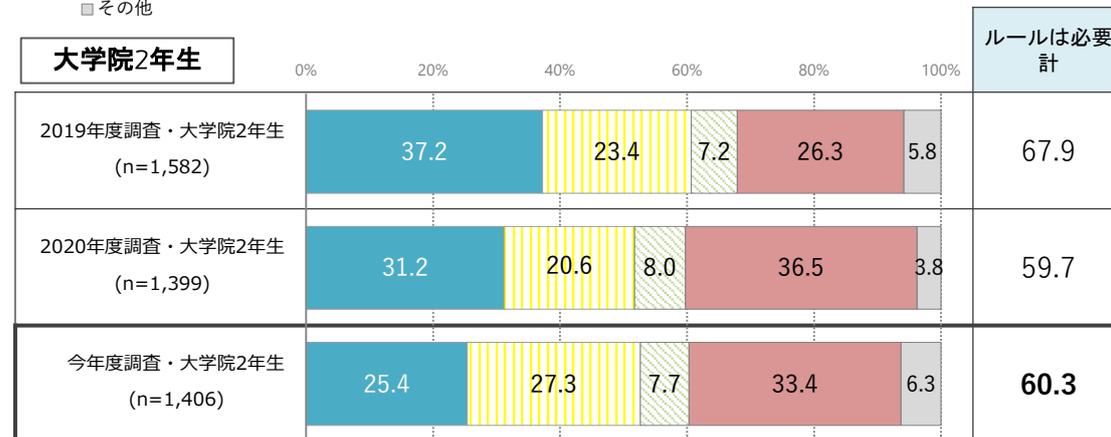
2020年度調査と比較すると、大きな変化はないが、「ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい」がやや高まっている。



■ ルールは必要であり、現在の開始時期がよい
 ■ ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい
 ■ ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい
 ■ ルールは必要ない
 ■ その他



■ ルールは必要であり、現在の開始時期がよい
 ■ ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい
 ■ ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい
 ■ ルールは必要ない
 ■ その他



■ ルールは必要であり、現在の開始時期がよい
 ■ ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい
 ■ ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい
 ■ ルールは必要ない
 ■ その他

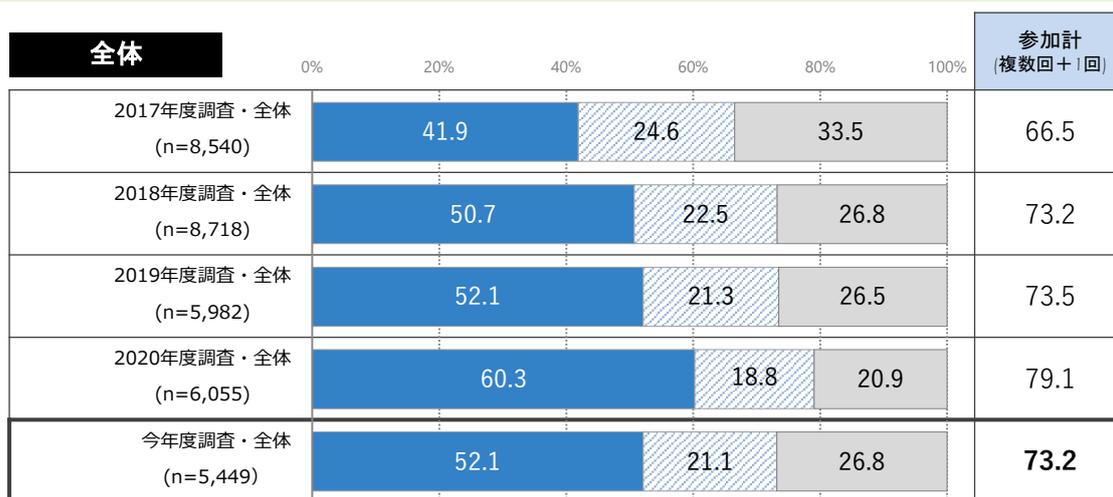
※「ルールは必要」の計は、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」と、「ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい」と、「ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい」を合わせた数値。

# インターンシップについて

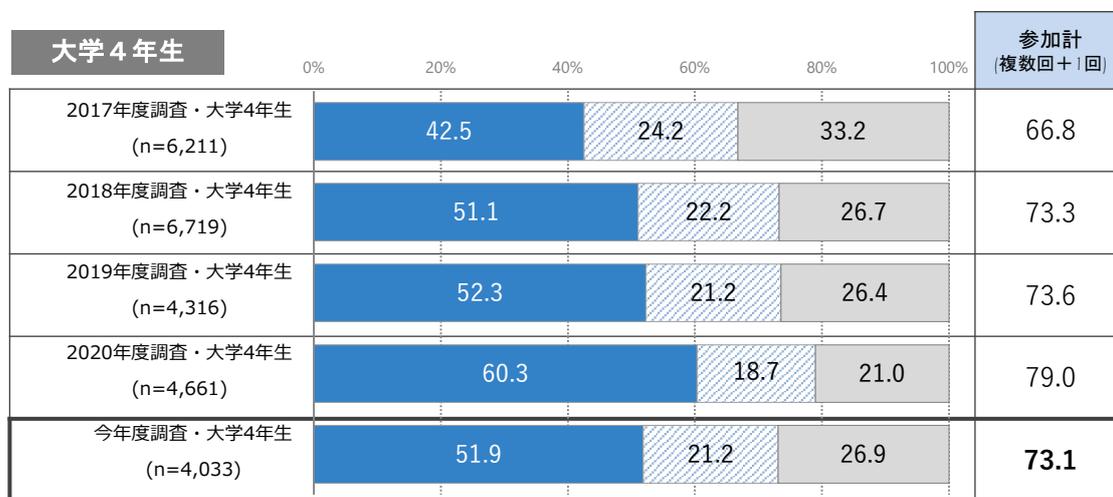
## インターンシップ参加経験の有無

インターンシップ参加経験について、約7割が「参加したことがある」と回答している。なお、約5割が「複数回参加したことがある」と回答している。

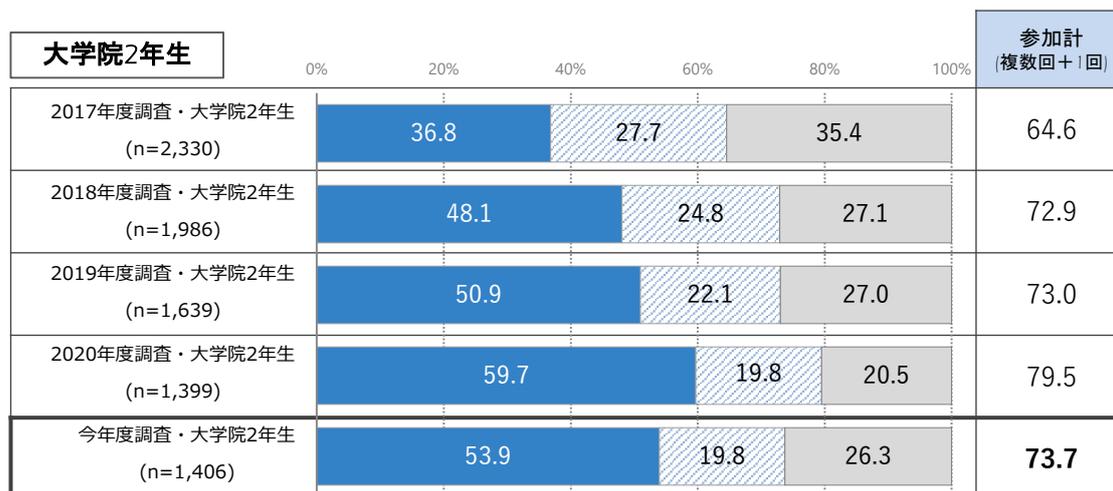
2020年度調査と比較すると、今年度調査は「複数回参加したことがある」と回答した割合が低くなっている。



■ 複数回参加したことがある    ▨ 参加したことがある (1回)    □ 参加したことがない



■ 複数回参加したことがある    ▨ 参加したことがある (1回)    □ 参加したことがない



■ 複数回参加したことがある    ▨ 参加したことがある (1回)    □ 参加したことがない

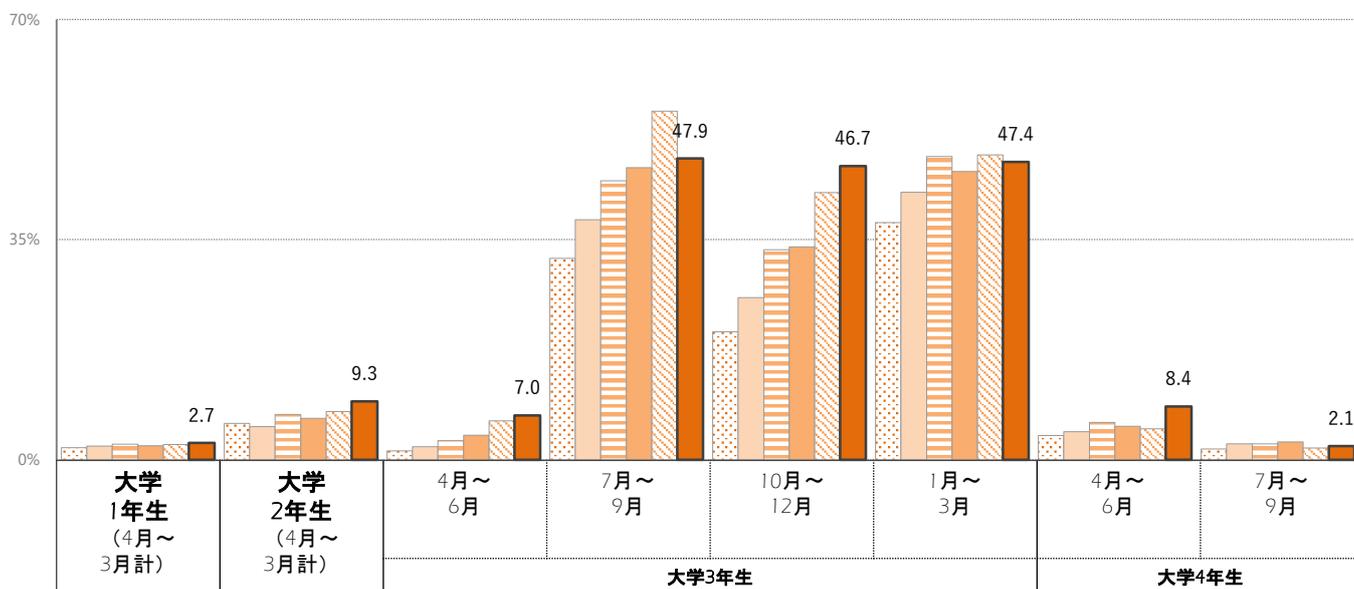
## インターンシップ参加時期

インターンシップ参加の時期について、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」、「10～12月」、「1月～3月」の参加割合が約4～5割で高く、この3期間で大きな差はなかった。

2020年度調査と比較すると、大学3年生・大学院1年生の「7～9月」において、インターンシップに参加したと回答した割合が低くなっており、「10月～12月」では高まっている。

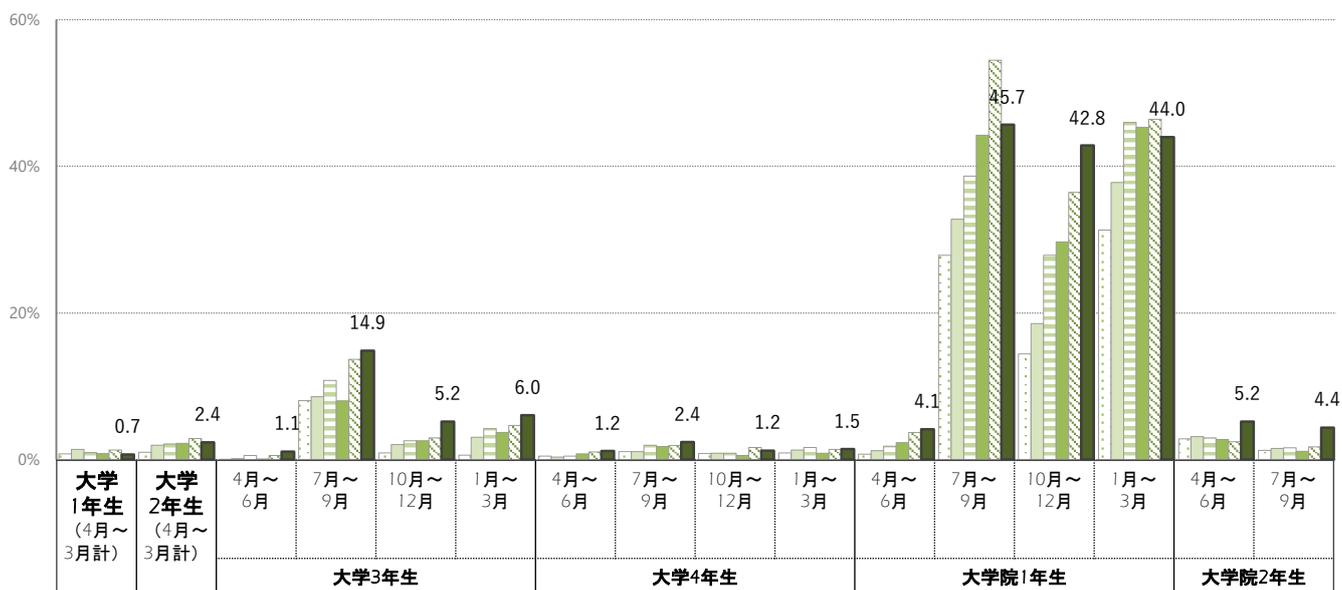
### 大学4年生

- 2016年度調査・大学4年生(n=8,028)
- 2017年度調査・大学4年生(n=6,211)
- 2018年度調査・大学4年生(n=6,719)
- 2019年度調査・大学4年生(n=4,316)
- 2020年度調査・大学4年生(n=4,661)
- 今年度調査・大学4年生(n=4,033)



### 大学院2年生

- 2016年度調査・大学院2年生(n=2,919)
- 2017年度調査・大学院2年生(n=2,330)
- 2018年度調査・大学院2年生(n=1,986)
- 2019年度調査・大学院2年生(n=1,639)
- 2020年度調査・大学院2年生(n=1,399)
- 今年度調査・大学院2年生(n=1,408)

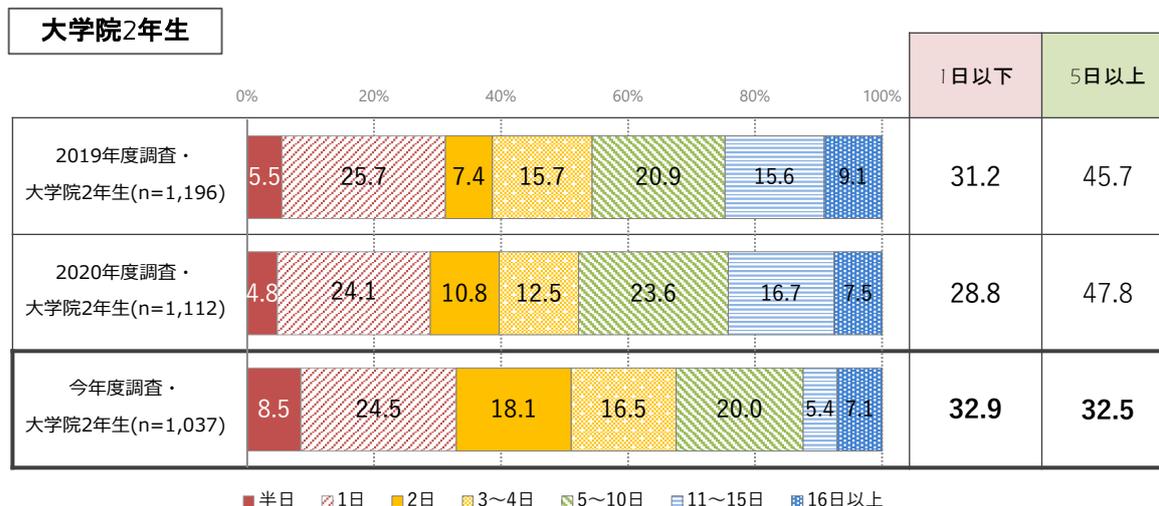


※ここでの集計対象(母数)には、「就職活動を行ったもの」を対象としているが、インターンシップに参加しなかった者も含む。

## インターンシップに参加したうちの最長日数

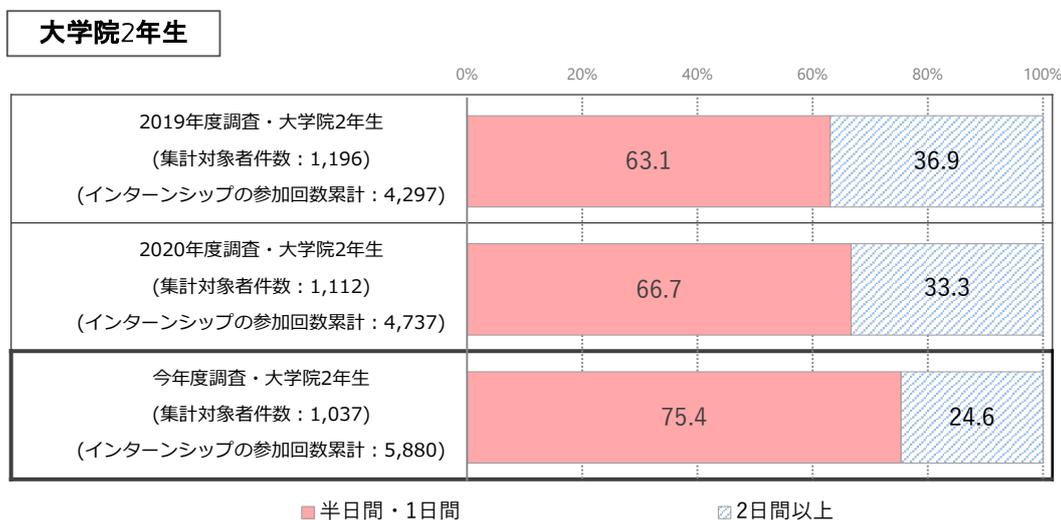
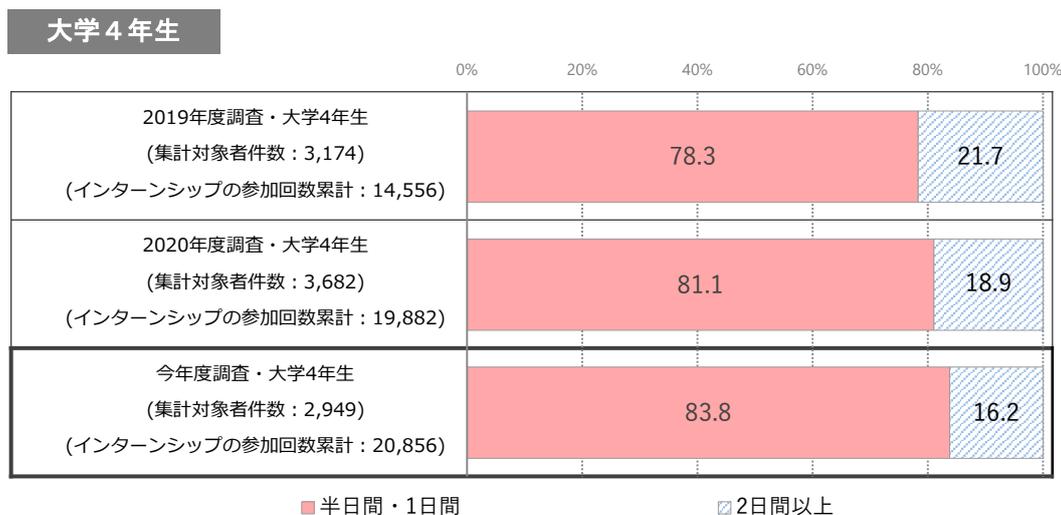
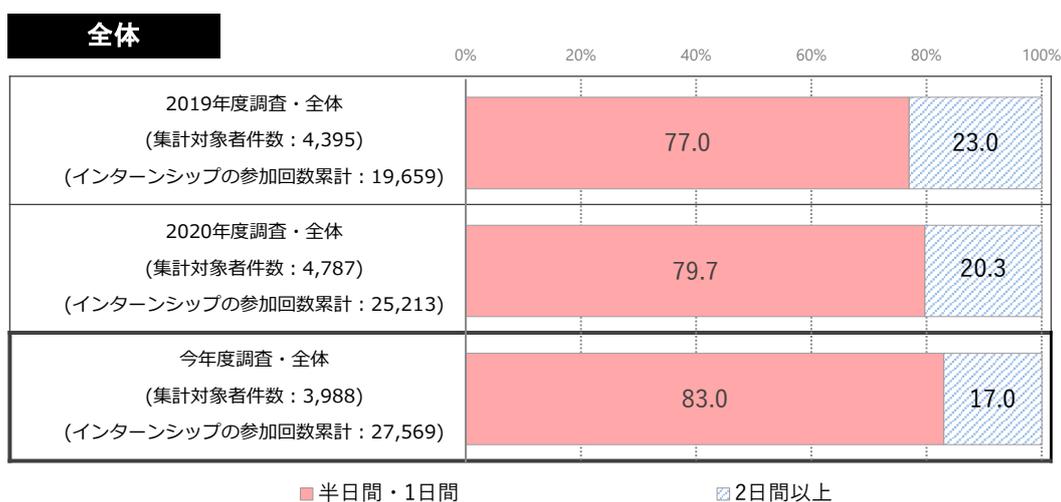
参加したインターンシップのうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日」の回答割合が約3割で最も高くなっている。なお、「半日」の回答は約1割であった。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「半日」の割合が高まっており、「5日以上」の割合が低くなっている。



## 半日間又は1日間のインターンシップの参加状況

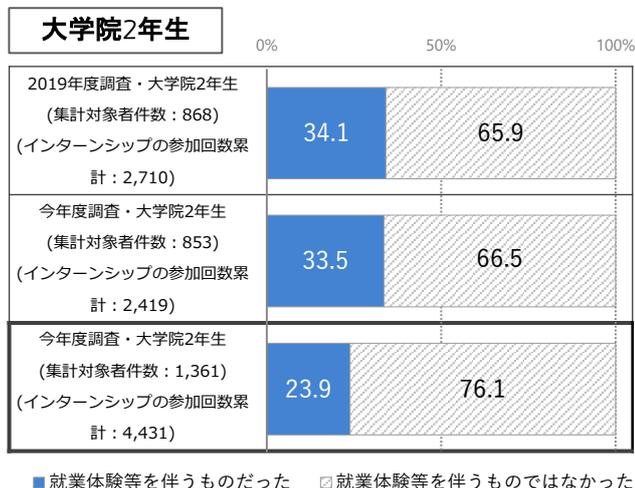
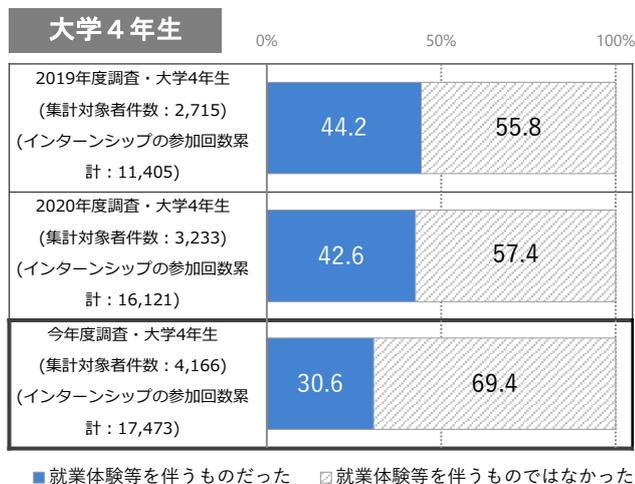
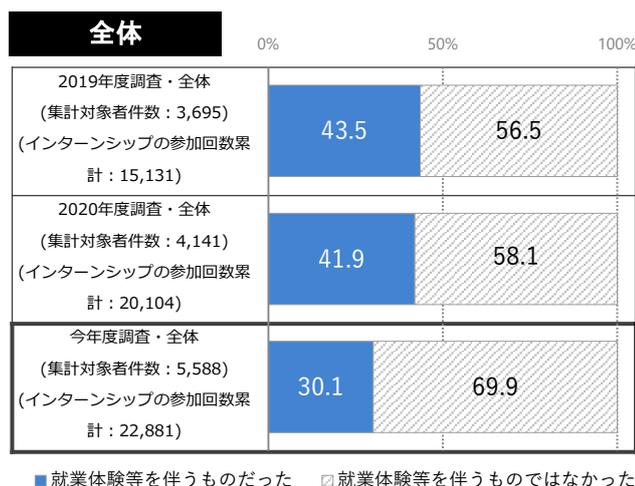
インターンシップへのすべての参加回数のうち、半日間又は1日間のインターンシップの参加回数が占める割合を集計すると、全体の約8割が半日間又は1日間のインターンシップであった。過年度調査に比べ、この割合は若干高くなっている。



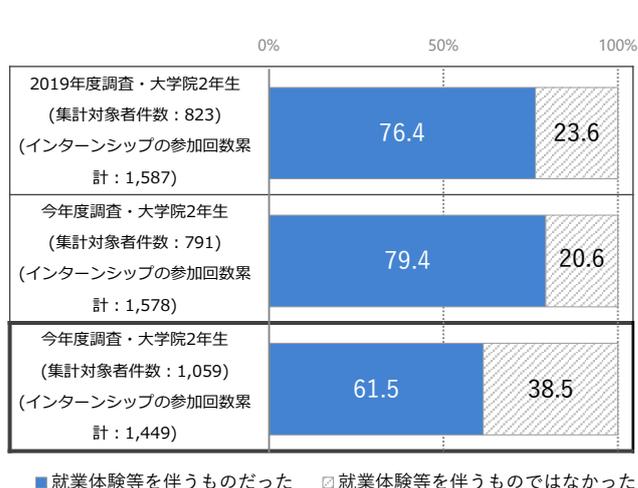
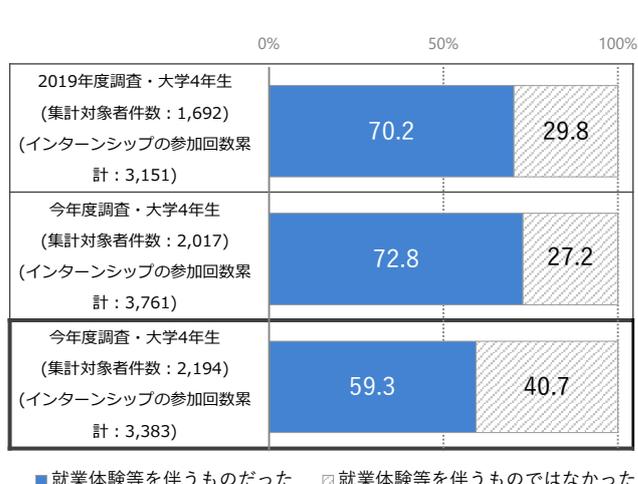
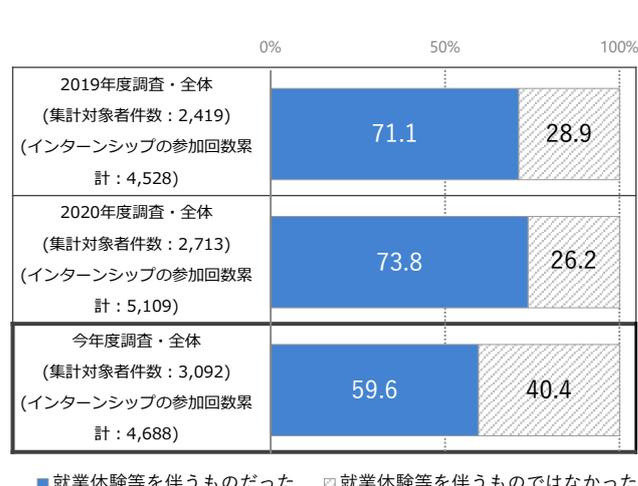
## 参加したインターンシップの就業体験等との関係性

参加したインターンシップのなかで、「就業体験等を伴うものではなかった」と回答した割合は、「半日間・1日間」で約7割であった。過年度調査と比較すると、就業体験を伴う割合は低くなっている。

### 半日間・1日間のインターンシップ



### 2日間以上のインターンシップ

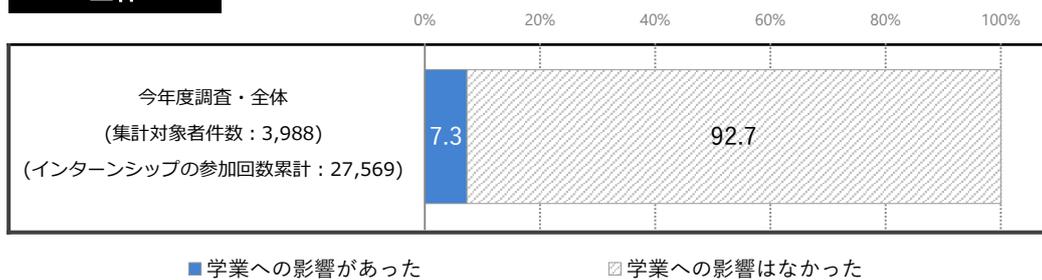


※就業体験とは、企業の業務内容の説明や職場見学のみのもは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

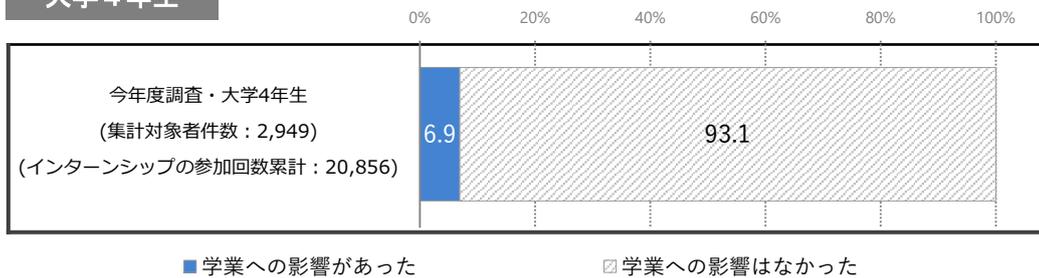
## 参加したインターンシップの学業（授業）への影響

参加したインターンシップのなかで、学業への影響があったかどうかを集計すると、約1割が学業への影響があったとした。

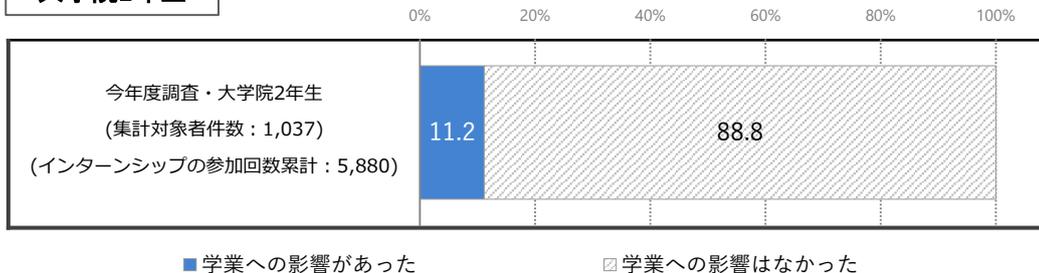
### 全体



### 大学4年生



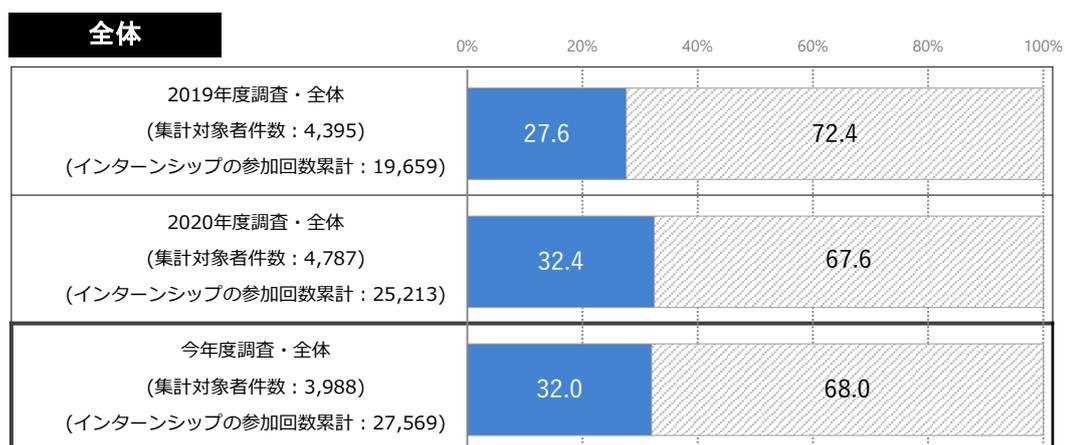
### 大学院2年生



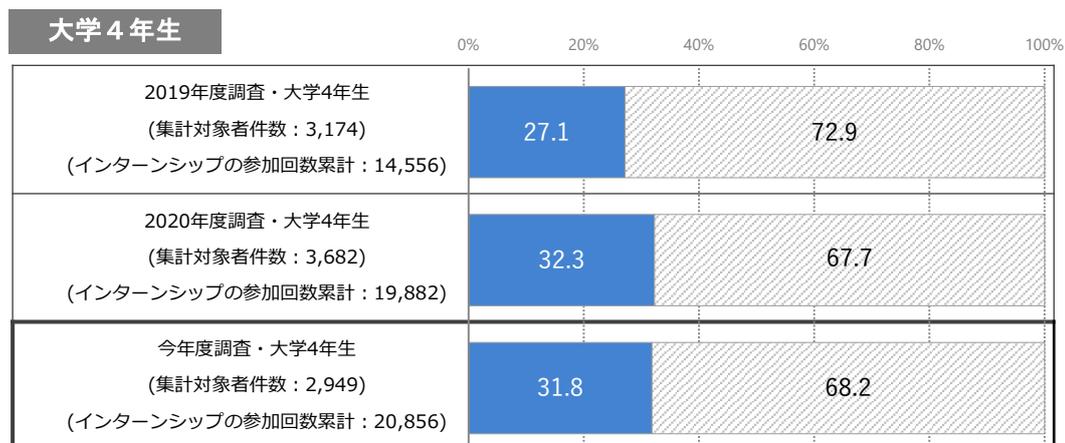
※「学業への影響」とは、授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものについて考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。

## 参加したインターンシップにおける実質的な選考実施の有無

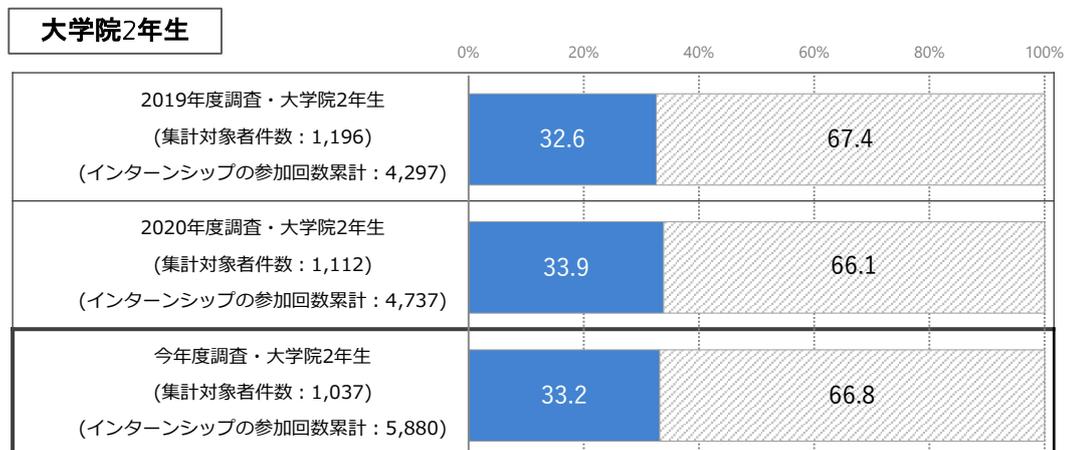
参加したインターンシップのなかで、採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいたかどうかを集計すると約3割が実質的な選考を行う活動を含むものであった。2020年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



- 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた
- ▨ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった (又は含んでいるかわからなかった)



- 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた
- ▨ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった (又は含んでいるかわからなかった)



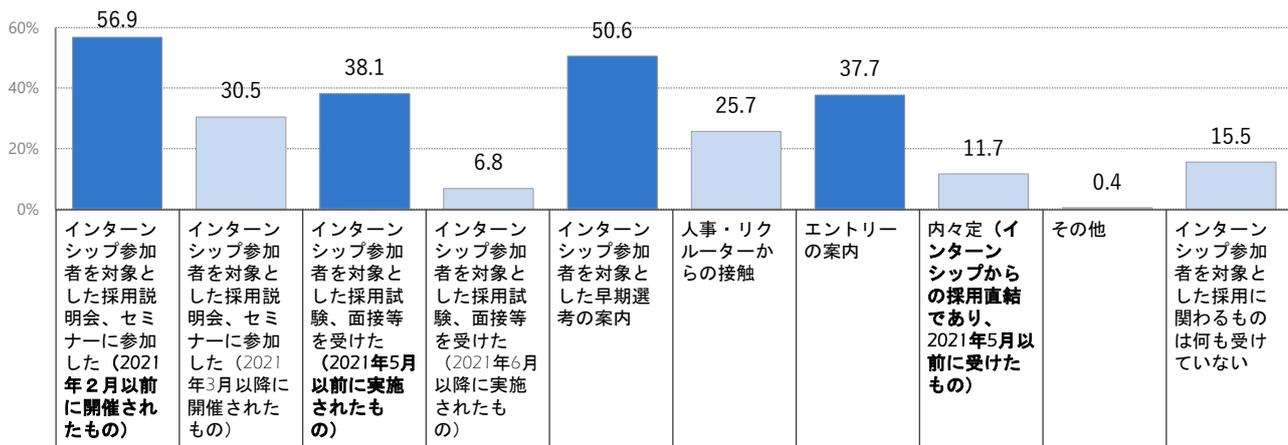
- 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた
- ▨ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった (又は含んでいるかわからなかった)

## インターンシップ参加後に、参加者を対象としたアプローチを受けたか

インターンシップ参加後に、インターンシップ参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けたかどうかを集計すると、「採用説明会・セミナーに参加した(2021年2月以前に開催されたもの)」が約6割、「インターンシップ参加者を対象とした早期選考の案内」が約5割、「採用試験・面接等を受けた(2021年5月以前に実施されたもの)」「エントリーの案内」が約4割となった。

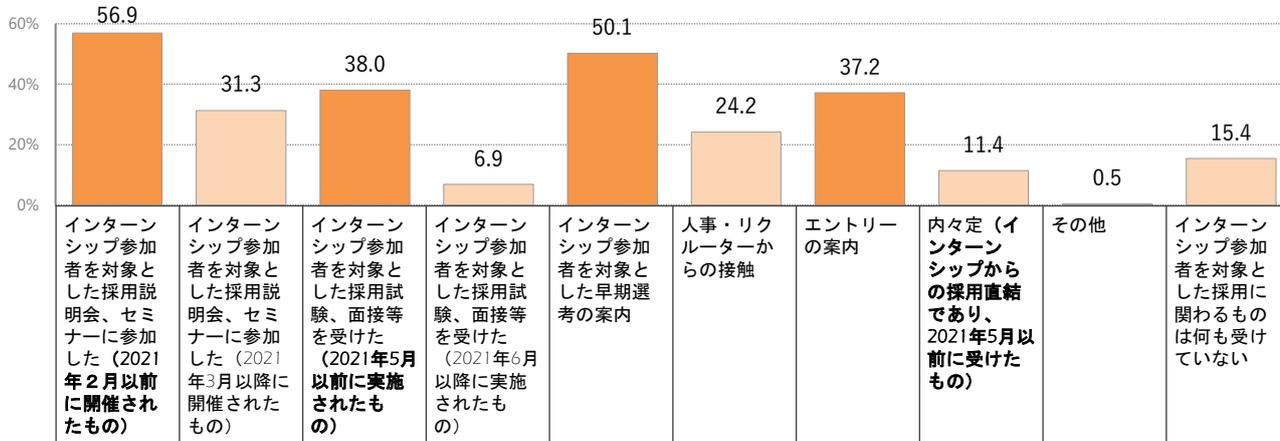
### 全体

n=3,988



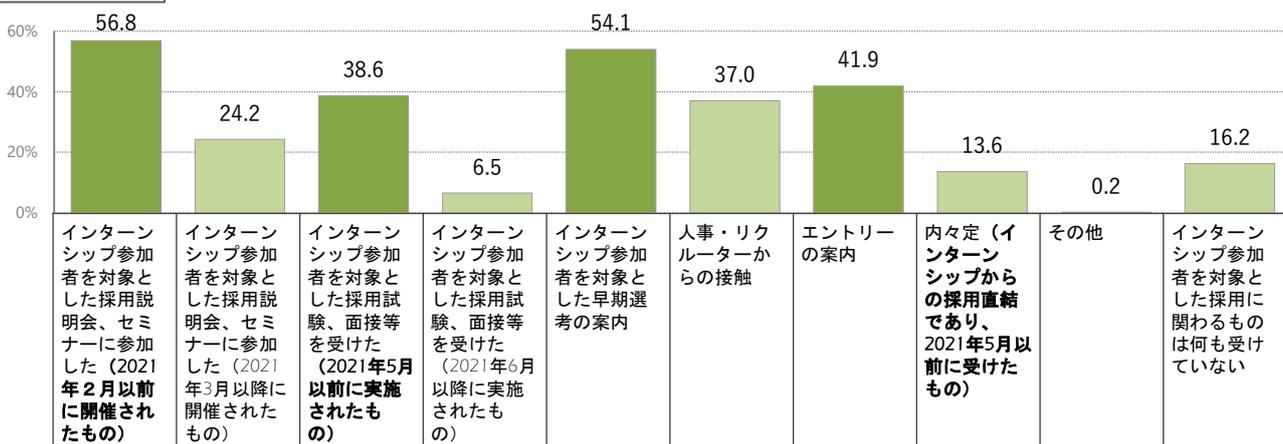
### 大学4年生

n=2,949



### 大学院2年生

n=1,037



## インターンシップに参加して感じた効果

インターンシップに参加してどのような効果があったと感じたかについて、参加したインターンシップの日数別に「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計値を比較した。

「良い影響」と考えられる多くの項目について、「半日又は1日間のインターンシップ」に比べ「2日以上インターンシップ」の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている。

### 全体

良い影響	業界・業種を理解することができた	94.6	96.4
	仕事の内容を具体的に知ることができた	80.9	92.4
	会社の雰囲気を理解することができた	70.2	88.7
	自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役だった	58.9	78.3
	日頃の学修への意欲が上がった	31.9	49.5
	新たな学修に取り組むきっかけとなった	35.2	48.5
	自分自身のスキルや能力についてよく考えるきっかけとなった	74.2	83.5
	専門分野における知識、スキルや能力が身についた	35.6	55.3
	課題発見・解決能力、主体性や自己管理能力等、社会人として必要なスキルや能力が身についた	52.8	72.0
悪い影響	学業に支障が生じた	11.9	20.7
	アルバイトに支障が生じた	23.1	31.0
	部活動・サークル活動に支障が生じた	13.7	20.1
その他	参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた	84.9	79.7
	インターンシップ参加者に対しての企業説明会等（広報活動）の案内があった	84.7	76.2
	インターンシップ参加者に対しての採用試験・面接等（採用選考活動）の案内があった	74.6	68.2
	採用選考の際のプロセスが一部省略されるなど、採用選考上の優遇が受けられた	53.0	55.2
	参加した企業から内々定を受けることにつながった	33.8	37.1

■半日間または1日間のインターンシップ（n=3,525）

■2日間以上のインターンシップ（n=2,106）

# 就職活動内容について

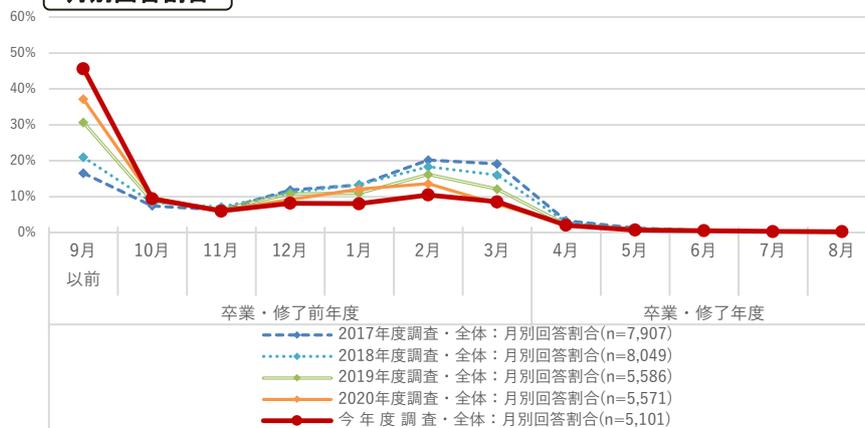
## 業界や企業に関する分析を開始した時期

いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかについて、「2020年9月以前」の回答割合が約5割で最も高く、次いで「2021年2月」の割合が高くなっている。

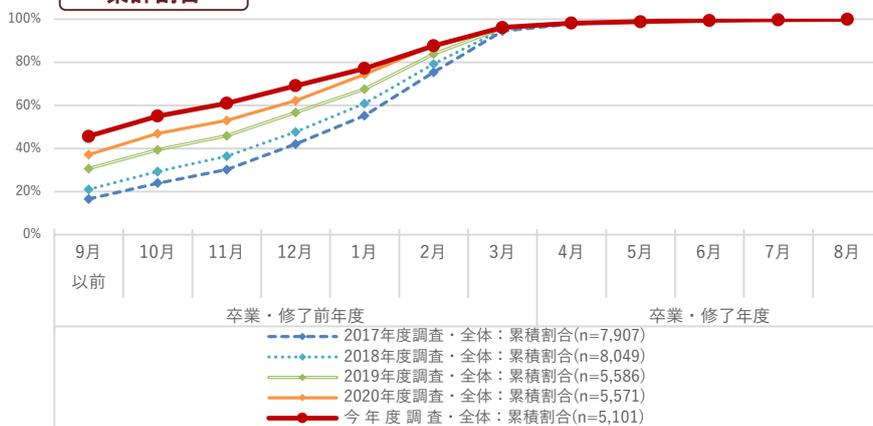
過年度調査と比較すると、卒業・修了前年度の「9月以前」の回答割合が上昇するなど、全体的に時期が若干早まっており、より早期に準備を行う傾向がみられる。

### 全体

月別回答割合



累計割合



### 全体

※全て%

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	20.4	10.5	8.6	6.2	9.4	6.0	8.2	8.0	10.5	8.6	2.0	0.7	0.5	0.3	0.2
累積割合	20.4	30.9	39.5	45.7	55.1	61.0	69.2	77.2	87.7	96.3	98.3	98.9	99.5	99.8	100.0

※ 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。また、2017～2019年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2020年度調査、今年度調査では「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、過年度調査との比較を行う上では、「6月以前」「7月」「8月」「9月」との回答を「9月以前」として再集計をしている（以下、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。



## 企業説明会やセミナー等への参加時期

企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期前である「2020年9月以前」の回答割合がやや上昇したものの、「2021年2月」はやや減少。「参加のピーク」については、約4割が「2021年3月」と回答しており最も割合が高くなり、「2021年2月」の回答割合がやや減少している。「最後に参加した時期」については、「2021年3月」の回答割合が約2割と最も高くなっている。

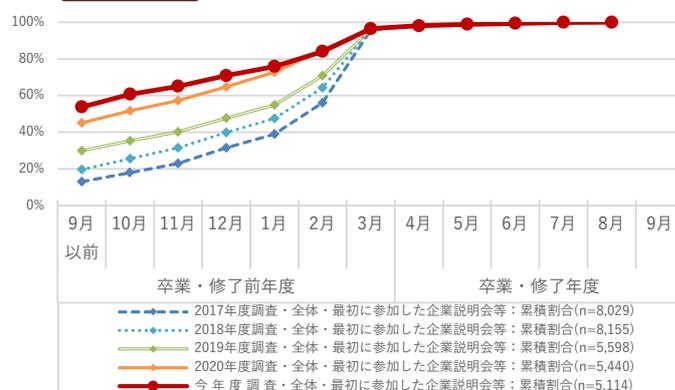
### 全体

#### 最初に参加した時期

##### 月別回答割合

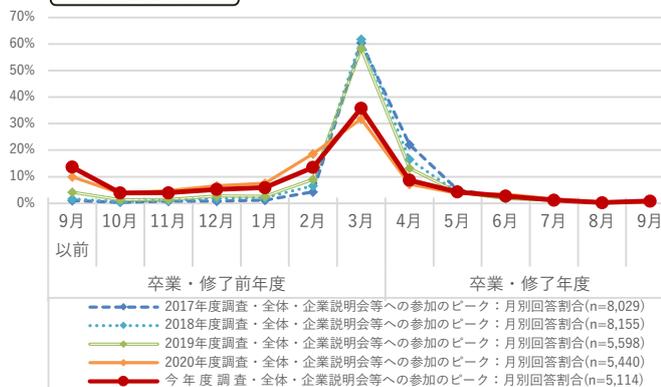


##### 累計割合

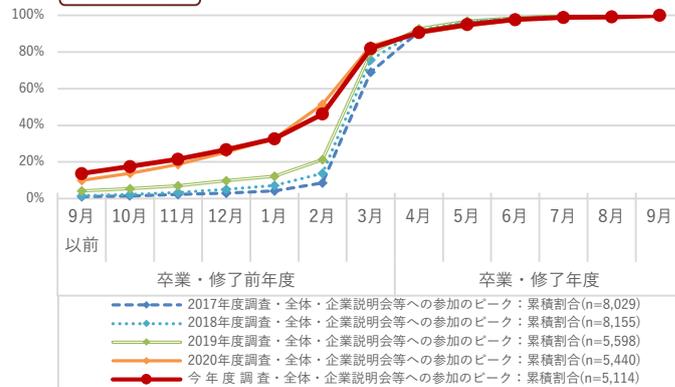


#### 参加のピーク

##### 月別回答割合

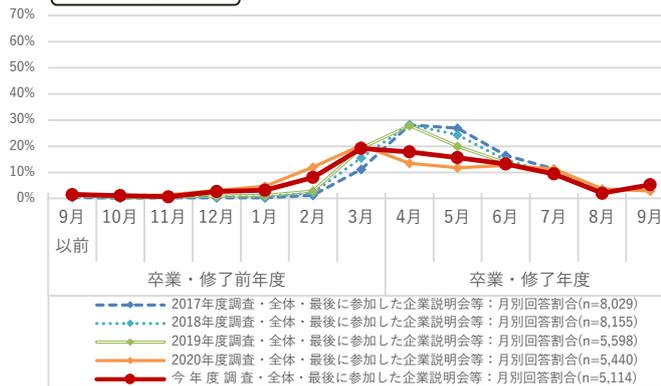


##### 累計割合

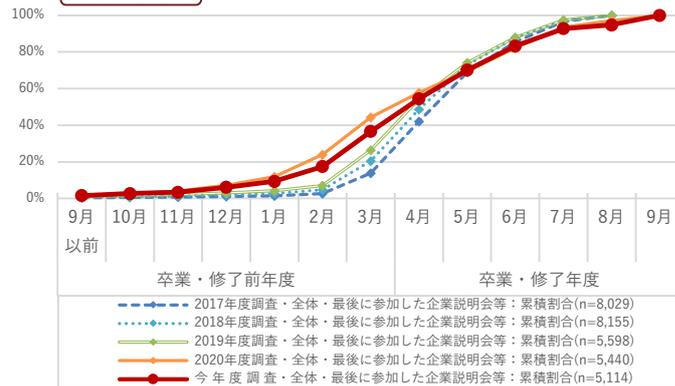


#### 最後に参加した時期

##### 月別回答割合



##### 累計割合



※ 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。  
 ※ 「参加のピーク」および「最後に参加した時期」について、今年度調査では「2021年9月以降（予定）」を選択肢として設けているが、グラフ中では「卒業・修了年度9月」の値として示している（以下、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。

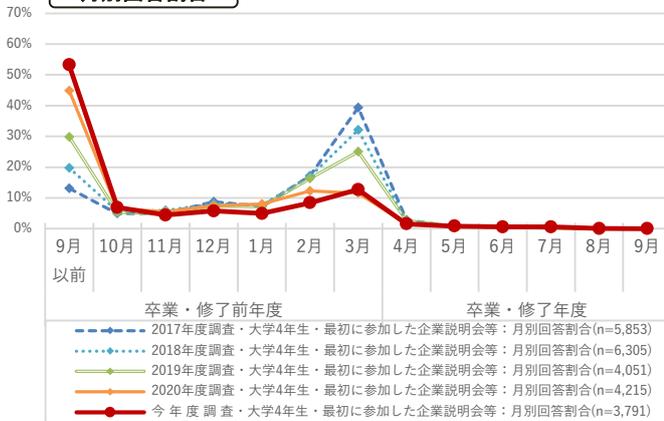
# 企業説明会やセミナー等への参加時期

## 大学4年生

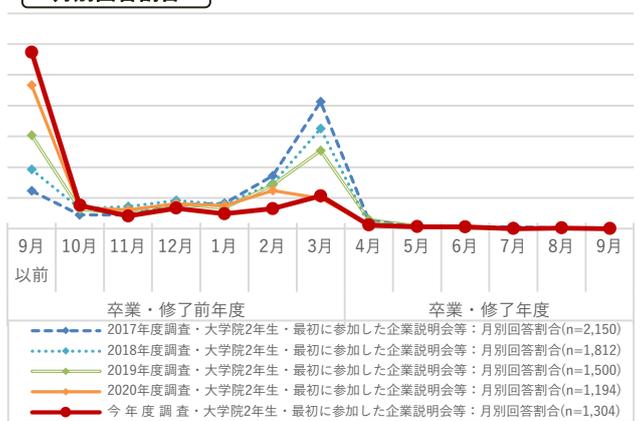
## 大学院2年生

### 最初に参加した時期

月別回答割合

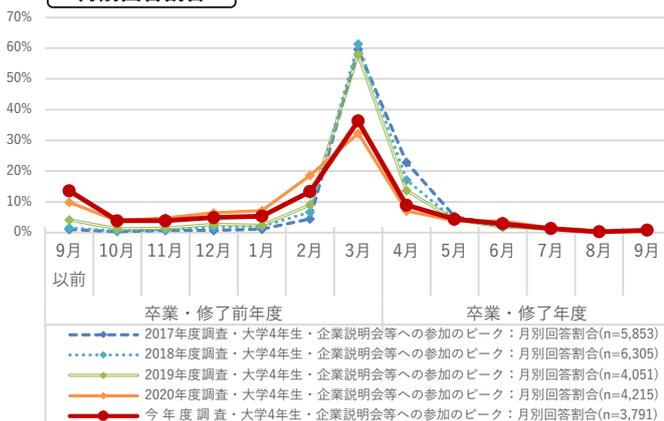


月別回答割合

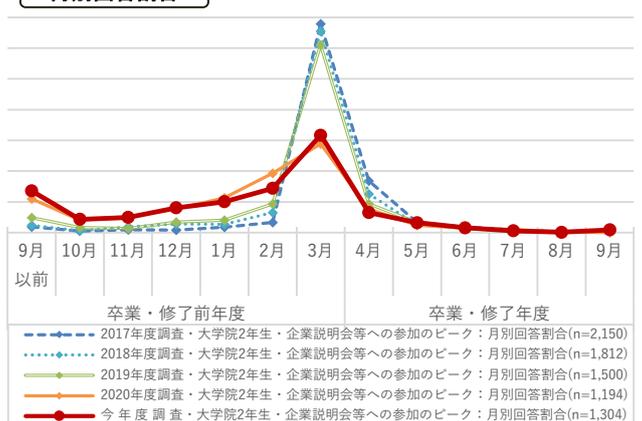


### 参加のピーク

月別回答割合

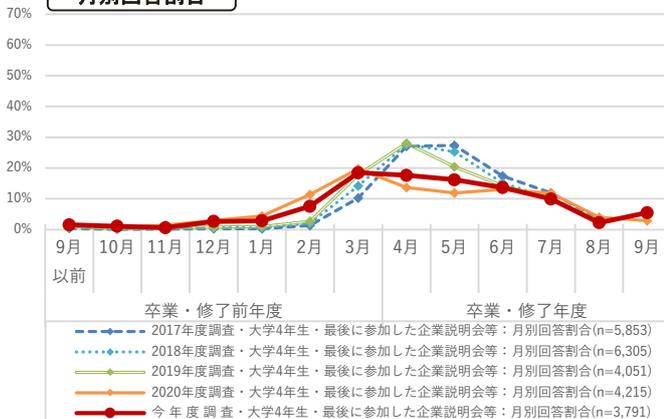


月別回答割合

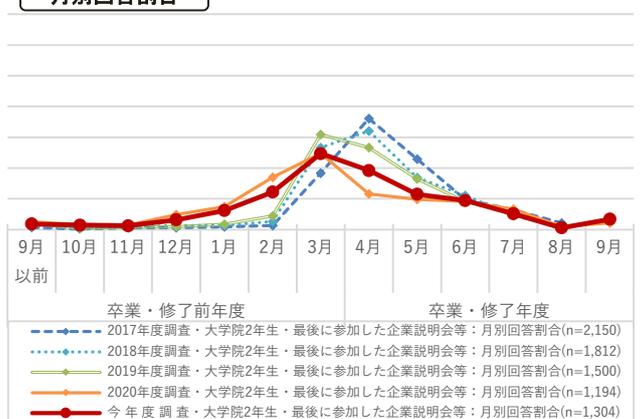


### 最後に参加した時期

月別回答割合



月別回答割合



## 企業説明会やセミナー等への参加時期

### 全体

※全て%

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	24.0	11.5	12.2	6.0	7.0	4.4	5.9	4.9	8.2	12.5	1.5	0.8	0.6	0.5	0.1	0.0
累積割合	24.0	35.5	47.7	53.7	60.7	65.1	70.9	75.9	84.0	96.5	98.0	98.8	99.4	99.9	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.7	1.9	6.3	3.7	3.9	4.0	5.3	5.9	13.5	35.8	8.7	4.3	2.7	1.2	0.3	0.8
累積割合	1.7	3.6	9.9	13.6	17.5	21.5	26.8	32.7	46.2	82.0	90.7	94.9	97.7	98.9	99.2	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.4	0.2	0.4	0.6	1.1	0.7	2.7	3.2	8.1	19.2	17.8	15.7	13.2	9.4	2.0	5.2
累積割合	0.4	0.6	1.0	1.6	2.7	3.4	6.2	9.4	17.5	36.6	54.4	70.1	83.3	92.7	94.8	100.0

### 大学4年生

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	23.9	11.4	12.3	5.7	6.9	4.4	5.8	4.9	8.4	12.7	1.6	0.8	0.6	0.6	0.1	0.0
累積割合	23.9	35.3	47.6	53.3	60.2	64.6	70.3	75.3	83.7	96.4	98.0	98.8	99.4	99.9	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.6	1.9	6.5	3.7	3.8	3.8	4.9	5.4	13.4	36.3	9.0	4.4	2.9	1.3	0.3	0.8
累積割合	1.6	3.4	10.0	13.6	17.5	21.3	26.2	31.6	45.0	81.3	90.3	94.7	97.6	98.9	99.2	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.4	0.2	0.4	0.6	1.1	0.6	2.7	2.8	7.6	18.5	17.7	16.2	13.6	10.0	2.2	5.5
累積割合	0.4	0.5	1.0	1.6	2.7	3.3	6.0	8.8	16.4	34.8	52.5	68.7	82.3	92.3	94.5	100.0

### 大学院2年生

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	24.9	12.2	11.6	8.6	7.6	4.1	6.6	4.8	6.5	10.6	1.1	0.6	0.6	0.0	0.2	0.0
累積割合	24.9	37.1	48.7	57.3	64.9	68.9	75.6	80.4	86.9	97.5	98.6	99.3	99.8	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.4	2.4	4.7	4.1	4.4	5.0	8.1	10.0	14.4	31.7	6.5	3.2	1.6	0.6	0.1	0.9
累積割合	2.4	4.8	9.4	13.6	17.9	22.9	31.0	41.0	55.4	87.1	93.6	96.8	98.4	99.0	99.1	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.5	0.7	0.3	0.4	1.4	1.3	3.2	6.2	12.2	24.7	19.2	11.5	9.5	5.2	0.6	3.4
累積割合	0.5	1.1	1.4	1.8	3.2	4.5	7.7	13.9	26.0	50.8	70.0	81.4	90.9	96.0	96.6	100.0